

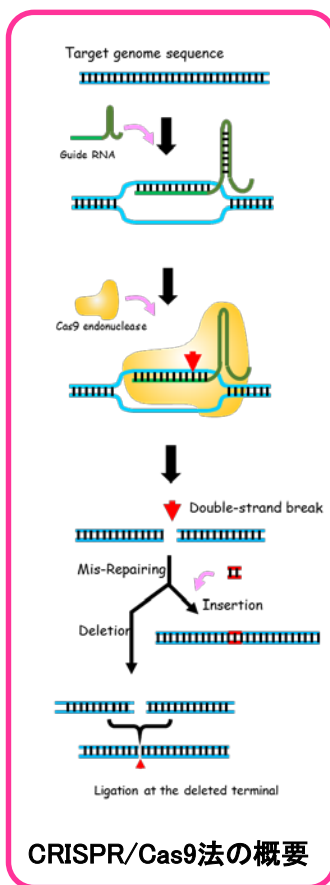
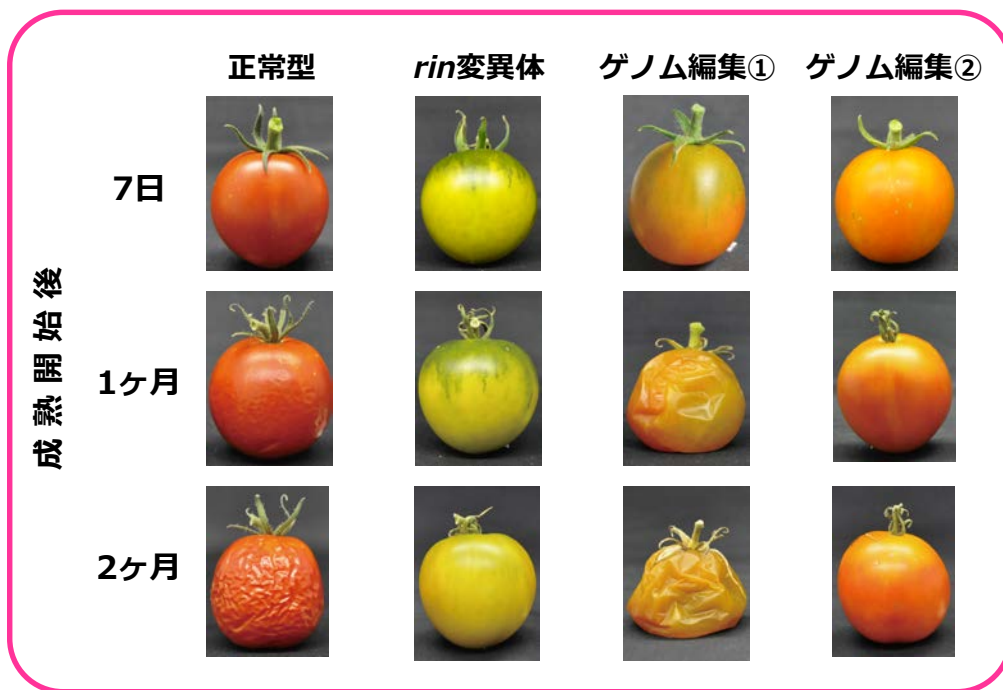
ゲノム編集を活用した トマトの成熟コントロール法の開発

技術の特徴

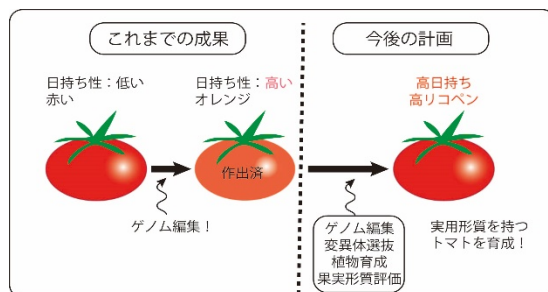
- ・トマトにゲノム編集法の一つであるCRISPR/Cas9法を適用し、これまでにない突然変異を創出することに成功しました。
- ・約半世紀にわたって信じられてきた、成熟開始のメカニズムを大きく見直す発見ができました。
- ・**高日持ちトマトの作出**が期待できる変異を見つけました。

研究の内容

- ・一つの遺伝子において、違うタイプの変異を導入することで、全く違う性状のトマトができました。



今後の展開



参 考

Yasuhiro Ito*, Ayako N-Yokoi, Masaki Endo, Masafumi Mikami, Seiichi Toki.
CRISPR/Cas9-mediated mutagenesis of the RIN locus that regulates tomato fruit ripening.
Biochemical and Biophysical Research Communications. 467(1)76-82 (2015)